
5 0 5 7 . 関税割当証明書内容照会

業務コード	業務名
I T Q	関税割当証明書内容照会

1. 業務概要

システムに登録されている関税割当証明書内容を照会する。

2. 入力者

税関、通関業、輸出入者

3. 制限事項

なし。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

なし。

(3) 関税割当証明書DBチェック

①入力されたNACCS用関税割当証明書番号が関税割当証明書DBに存在すること。

②入力された輸出入者コードが、関税割当証明書DBに登録されている輸出入者コードと一致すること。
輸入者コード欄に入力された輸入者コードまたは法人番号で以下のチェックを行う。ただし、国内用輸出入者DBにて輸出入者コードと法人番号が紐づいて登録されている場合は、相互に変換してチェックを行う。

(A) 関税割当証明書DBに登録されている輸出入者コードが12桁の輸出入者コードまたは17桁の法人番号である場合は、入力された輸出入者コードが関税割当証明書DBに登録されている輸出入者コードと一致すること。

(B) 関税割当証明書DBに登録されている輸出入者コードが8桁の輸出入者コードである場合は、入力された輸入者コードの先頭8桁が関税割当証明書DBに登録されている輸入者コードの先頭8桁と同一であること。

(C) 関税割当証明書DBに登録されている輸出入者コードが13桁の法人番号である場合は、入力された輸入者コードの先頭13桁が関税割当証明書DBに登録されている輸入者コードの先頭13桁と同一であること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-0000」以外のコードを設定の上、関税割当証明書（裏落）内容照会情報の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 関税割当証明書内容照会情報編集出力処理

関税割当証明書DBより関税割当証明書内容照会情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
関税割当証明書（裏落） 内容照会情報	なし	入力者

7. 特記事項

裏落内容の出力順序は仮登録を行った日時での降順とする。